

6 食中毒

(1) 食中毒の発生状況

ア 概況

平成28年に、海外を原因とする事件を除く広島県内で発生した食中毒は28件、有症者数は349人であり、前年と比較すると、事件数は41件減少し、有症者数は603人減少した。なお、集団食中毒は11件、有症者数は322人であった。

過去3年間の事件数等の推移は次のとおりである。

年	広島県					全国				
	事件数	有症者数	死者数	罹患率	1事件当たりの有症者数	事件数	有症者数	死者数	罹患率	1事件当たりの有症者数
28	28 (11)	349 (322)	0	12.3	12.5 (29.3)	1,140	20,253	14	16.0	17.8
27	69 (15)	952 (880)	0	33.7	13.8 (58.7)	1,202	22,718	6	17.9	18.9
26	95 (22)	802 (705)	0	28.3	8.4 (32.0)	976	19,355	2	15.2	19.8

(注) 罹患率は、人口10万人に対するものである。

(注) ()内は集団食中毒(有症者6人以上)の発生状況である。

イ 病因物質別発生状況

広島県内の病因物質別の発生状況は、細菌によるものが16件(57.1%)、101人(28.9%)であり、ノロウイルスによるものが6件(21.4%)、218人(62.5%)、動物性自然毒によるものが4件(14.3%)、8人(2.3%)、植物性自然毒によるものが1件(3.6%)、12人(3.4%)、その他が0件であった。

病因物質	食中毒		集団(再掲)		散发(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総数	28 (100)	349 (100)	11 (100)	322 (100)	17 (100)	27 (100)
細菌総数	16 (57.1)	101 (28.9)	3 (27.3)	82 (25.5)	13 (76.5)	19 (70.4)
カンピロバクター	14 (50.0)	26 (7.4)	1 (9.1)	7 (2.2)	13 (76.5)	19 (70.4)
セレウス菌	1 (3.6)	9 (2.6)	1 (9.1)	9 (2.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
サルモネラ属菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
黄色ブドウ球菌	1 (3.6)	66 (18.9)	1 (9.1)	66 (20.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
腸管出血性大腸菌 以外の病原大腸菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ウエルシュ菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ノロウイルス	6 (21.4)	218 (62.5)	6 (54.5)	218 (67.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
動物性自然毒	4 (14.3)	8 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (23.5)	8 (29.6)
植物性自然毒	1 (3.6)	12 (3.4)	1 (9.1)	12 (3.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
不明	1 (3.6)	10 (2.9)	1 (9.1)	10 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)

ウ 原因施設別発生状況

(ア) 原因施設別の発生状況は、原因施設が判明したものが19件(67.9%)、340人(97.4%)、原因施設が不明のものが9件(32.1%)、9人(2.6%)であった。

原因施設 判明の有無	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総計	28 (100)	349 (100)	11 (100)	322 (100)	17 (100)	27 (100)
原因施設が判明したもの	19 (67.9)	340 (97.4)	11 (100)	322 (100)	8 (47.1)	18 (66.7)
原因施設が不明のもの	9 (32.1)	9 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (52.9)	9 (33.3)

(イ) 原因施設が判明したものの件数の多い順は、飲食店(一般, 仕出し, 旅館)が12件(63.2%)、240人(70.6%)、家庭が4件(21.1%)、6人(1.8%)、寄宿舍が1件(5.3%)、62人(18.2%)、事業所が1件(5.3%)、20人(5.9%)、その他が1件(5.3%)、12人(3.5%)であった。

原因施設	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)		
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	
原因施設が判明したもの	19 (100)	340 (100)	11 (100)	322 (100)	8 (100)	18 (100)	
飲食店	一般	9 (47.4)	83 (24.4)	5 (45.5)	71 (22.0)	4 (50.0)	12 (66.7)
	仕出し	3 (15.8)	157 (46.2)	3 (27.3)	157 (48.8)		
	旅館	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
家庭	4 (21.1)	6 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (50.0)	6 (33.3)	
事業所	1 (5.3)	20 (5.9)	1 (9.1)	20 (6.2)			
寄宿舍	1 (5.3)	62 (18.2)	1 (9.1)	62 (19.3)			
その他	1 (5.3)	12 (3.5)	1 (9.1)	12 (3.7)			

エ 原因食品別発生状況

(ア) 原因食品の判明したものが18件(64.3%)、339人(97.1%)、不明のものが10件(35.7%)、10人(2.9%)であった。

原因食品 判明の有無	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総計	28 (100)	349 (100)	11 (100)	322 (100)	17 (100)	27 (100)
原因食品が判明したもの	18 (64.3)	339 (97.1)	11 (100)	322 (100)	7 (41.2)	17 (63.0)
不明のもの	10 (35.7)	10 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (58.8)	10 (37.0)

(イ) 原因食品が判明したものの件数は、食事特定が12件(46.2%)、773人(85.8%)、フグが6件(54.5%)、11人(52.4%)、魚介類(その他)が5件(19.2%)、27人(3.0%)、菓子類が2件(7.7%)、86人(9.5%)、野菜類及びその加工品が1件(3.8%)、4人(0.4%)の順であった。

原因食品の種別	食中毒		集団食中毒(再掲)		散発食中毒(再掲)		
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	
原因食品が判明したもの	18 (100)	339 (100)	11 (100)	322 (100)	7 (100)	17 (100)	
食事特定	13 (72.2)	319 (94.1)	10 (90.9)	310 (96.3)	3 (42.9)	9 (52.9)	
魚介類	フグ	4 (22.2)	8 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (57.1)	8 (47.1)
	その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
菓子類	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
野菜類及びその加工品	1 (5.6)	12 (3.5)	1 (9.1)	12 (3.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	

オ 月別の発生状況

広島県内の事件数では、件数の多い順に5月が10件、2月が9件、4月が8件となっている。有症者数では11月が365人、2月が216人、12月が174人の順であった。

発 生 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
食 中 毒	事 件 数	3		2	2	2	5	2		3	5	1	3	28
	有 症 者 数	83		4	13	17	8	10		10	100	11	93	349
	死 者 数													
集 団 食 中 毒 （ 再 掲 ）	事 件 数	1			1	1	0	1		1	3	1	2	11
	有 症 者 数	80			10	16	0	9		7	98	11	91	322
	死 者 数													
散 発 食 中 毒 （ 再 掲 ）	事 件 数	2		2	1	1	5	1		2	2		1	17
	有 症 者 数	3		4	3	1	8	1		3	2		2	27
	死 者 数													

カ 主な食中毒事件（有症者50人以上）

No	発生日	発生場所	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設
1	1月19日	尾道市	80	0	1月18日に調製した弁当	ノロウイルス	仕出屋
2	10月16日	竹原市	66	0	10月16日に提供した鯛めし	黄色ブドウ球菌	仕出屋
3	12月7日	呉市	62	0	12月6日に提供した給食	ノロウイルス	給食施設

平成28年食中毒発生状況

1 広島県（広島市、呉市、福山市を含む）内で発生した集団食中毒

事件番号	発生日	発生場所	喫食者数	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	喫食場所	潜伏時間	症状（％）	事件概要	発生要因
1	1月19日	尾道市	2,680	80	0	1月18日に調製した弁当	ノロウイルス	仕出屋	事業所（弁当配達先）	35.4	下痢, 嘔吐	提供された弁当を喫食した者から有症者が発生	弁当を喫食していない従事者1名からノロウイルスが検出されており、この従事者に持ち込まれたノロウイルスがドアノブ等を介して盛り付け作業従事者の手指に付着し、食品を汚染したこと、ノロウイルスが検出された従事者3名は、当該弁当を喫食しているため盛り付け時にノロウイルスを保有していたかは明確でないが、衛生手袋の定期的な交換が行われておらず、手洗いが不十分だったため、手指を介して調理済み食品を汚染した可能性があったこと、弁当容器や食器収納及び運搬に使用する番重の消毒が十分でなかったため、外部から持ち込まれたノロウイルスが一部残存し、食品を汚染した可能性があったことが推察される。
2	4月11日	広島市	14	10	0	4月11日昼に提供した料理	不明	飲食店	飲食店	8.7	下痢（70） 吐気（60） 嘔吐（50）等	飲食店が提供した食事を喫食した10名が発症した。（営業禁止4/13～4/15）	患者の共通食は当該料理のみであり、全員がサワラの刺身を喫食していた。さらに、別仕入日の原材料（サワラ）からクドア属が検出され、患者の症状及び潜伏期間からクドア属を原因とする食中毒の可能性があると考えられたが、種の特定には至らなかった。
3	5月28日	広島市	22	16	0	5月27日昼に提供した料理	ノロウイルス	飲食店	飲食店	35.8	下痢（81） 嘔吐（81） 発熱（69）等	飲食店が提供した食事を喫食した16名が発症した。（営業禁止6/2～6/6）	ノロウイルスに感染した調理従事者（不顕性感染）が手指洗浄が不十分のまま作業に従事したこと、および共用の手拭タオルを介して他の従事者の手指を汚染し、加熱後の食品への汚染があったことが考えられる。
4	7月29日	広島市	9	9	0	7月29日昼に提供した料理	セレウス菌	飲食店	飲食店	1.4	嘔吐（100） 下痢（33）等	飲食店が提供した食事を喫食した9名が発症した。（営業禁止7/31～8/4）	調理場や調理器具の消毒が不十分でセレウス菌に汚染されていたこと、また、食材の多くが作り置きであったため、調理器具や従事者の手指を介して汚染された食品においてセレウス菌の増殖中にセレウリドが産生されたと考えられる。
5	9月28日	広島市	11	7	0	9月26日夜に提供した料理	カンピロバクター	飲食店	飲食店	60.7	下痢（86） 腹痛（86） 発熱（71）等	飲食店が提供した食事を喫食した7名が発症した。（営業禁止10/3～10/5）	患者全員が「鶏たき」を喫食していたことから、加熱不十分な鶏胸肉の喫食が原因と考えられる。
6	10月5日	福山市	不明	20	0	社員食堂で提供した食事	ノロウイルス	飲食店	社員食堂	不明	下痢（80） 発熱（75） 嘔吐（70）	提供された食事を喫食した者から有症者が発生	ノロウイルスに感染した従事者の手洗い不十分により、手指を介し、調理器具や食材を二次的に汚染したこと、食材の加熱が不十分であったこと、食材からの汚染を受けた施設・調理器具の消毒不十分であったこと等が推察される。
7	10月16日	竹原市	281	66	0	10月16日に提供した鯛めし	黄色ブドウ球菌	仕出屋	自宅	4.5	嘔吐, 下痢等	提供された鯛めしを喫食した者から有症者が発生	製造当日はイベント販売用鯛めしを通常の配食と同時に製造したため、調理能力オーバーになっていた。また、調理従事者は鯛めしの具をほぐす作業を素手で行っていたことから、手指を介して加熱調理済み食品が汚染されたと考えられた。鯛めしの保存方法や消費期限については、科学的・合理的根拠に基づいて設定しておらず、常温での保存や調理当日20時とした消費期限表示を行ったことにより、購入者の喫食時間が遅いほど重症化しており、期限設定等が不適切であったことが被害者の増加につながったと考えられた。
8	10月22日	庄原市	12	12	0	10月22日に喫食したツキヨタケ	植物性自然毒	自家調理	その他	1.5	嘔吐, 腹痛, 下痢	地元住民が採取したキノコを喫食した者から有症者が発生	住民が食用きのこと誤ってツキヨタケを採取し、パーベキューの食材として提供したことにより発生した。当該住民は普段から自宅周辺できのこを採取しており、自分の鑑別能力に自信を持っていたが、この時はパーベキュー会場の近くの山林で、良く似た毒きのこを食用きのこと見誤ってしまった。
9	11月9日	福山市	23	11	0	11月8日に提供した食事	ノロウイルス	仕出屋	家庭	35.4	下痢（73） 嘔吐（55） 吐き気（55）	提供された食事を喫食した者から有症者が発生	食材の加熱が不十分であったこと、食材からの汚染を受けた従事者の手洗い施設・調理器具の総数が不十分であったこと等が推察される。
10	12月7日	呉市	213	62	0	12月6日に提供した給食	ノロウイルス	給食施設	給食施設	36時間	下痢(64.5), 嘔吐(53.2), 発熱(77.4)	給食施設が提供した食事を喫食した62名が発症した。業務禁止12/12,13(給食自粛12/8～11)	調理従事者からノロウイルスが検出されたことから、調理従事者の手指等を介した食品への汚染が考えられた。
11	12月8日	広島市	30	29	0	12月7日, 9日, 12日夜に提供した料理	ノロウイルス	飲食店	飲食店	30.5	発熱（79） 下痢（76） 嘔吐（52） 嘔気（41）等	飲食店が提供した食事を喫食した29名が発症した。（営業禁止12/14～12/19）	ノロウイルスに感染した従事者が手指洗浄が不十分のまま作業に従事したこと、および共用の手拭タオルを介して他の従事者の手指を汚染し、加熱後の食品への汚染があったことが考えられる。

6名以上の有症者がある場合を集団食中毒として計上

2 平成28年特異な食中毒発生状況

事件番号	発生日	発生場所	喫食者数	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	喫食場所	潜伏時間	症状	事件概要	発生要因
1	1月4日	尾道市	3	2	0	ふぐ（種類不明）	フグ毒（テトロドトキシン）（推定）	家庭	家庭	10分	しびれ, 嘔吐等	家族が釣ったフグを家庭で調理して喫食し、発症	フグ（種類不明）の身と卵巣と思われるものを喫食した。フグの種類、可食部位および内臓の鑑別等の知識不足が原因と考えられる。
2	4月24日	尾道市	4	3	0	ショウサイフグの卵巣（推定）	フグ毒（テトロドトキシン）（推定）	飲食店	飲食店	0.5～6.0	しびれ, 歩行困難, 起立不能, 嘔吐等	飲食店で提供されたフグ料理を喫食して発症	仕入れ元の魚介類販売店がフグ処理施設であるか確認せず、今年4月から新たにみがきフグや白子を食材として取扱っていた。また、仕入時や調理前におけるフグの有毒部位の有無の確認作業を怠っていたことが、当該事案に繋がったものと考えられた。
3	5月8日	広島市	1	1	0	ふぐ（種類不明）	フグ毒（テトロドトキシン）（推定）	家庭	家庭	1.0	口唇のしびれ（100） ふらつき（100） ちどりあし（100）等	自分で釣ったフグを喫食した1名が発症した。	フグ（種類不明）の身及び精巣または卵巣を喫食した。フグの種類、可食部位および内臓の鑑別等の知識不足が原因と考えられる。
4	12月18日	広島市	2	2	0	ふぐ（種類不明）	フグ毒（テトロドトキシン）（推定）	家庭	家庭	1.0	ふらつき, 嘔吐, 歩行困難, 呼吸困難, 意識消失(各100)等	自分で釣ったフグを家族1名と喫食し、2名が発症した。	フグ（種類不明）の身と卵巣と思われるものを喫食した。フグの種類、可食部位および内臓の鑑別等の知識不足が原因と考えられる。

平成28年集団食中毒（県内分）

事件数（件）	有症者数（名）	死者数（名）
県立	3	158
広島市	5	71
呉市	1	62
福山市	2	31
合計	11	322

平成28年散発食中毒（県内分）

事件数（件）	有症者数（名）	死者数（名）
県立	2	5
広島市	12	15
呉市	2	3
福山市	1	4
合計	17	27

別表 2

年次別食中毒発生状況

(広島県)

(単位: 件, 人, %)

(全国)

(単位: 件, 人, %)

年次	件数	患者数	死者数	り患率	1事件当 たり患者 数
31	38	1,113	9	51.5	29.3
32	32	370	14	19.0	11.6
33	49	1,107	15	50.7	22.6
34	45	624	11	28.6	13.9
35	47	856	11	39.3	18.2
36	42	1,412	12	64.8	33.6
37	48	2,010	14	90.7	41.9
38	42	787	14	35.8	18.7
39	46	1,356	9	60.8	29.5
40	33	684	14	20.5	20.7
41	55	1,799	11	75.8	32.7
42	37	878	15	37.5	23.7
43	51	768	14	32.4	15.1
44	34	1,274	6	52.9	37.5
45	23	615	4	25.2	26.7
46	35	1,428	6	57.4	40.8
47	22	1,054	0	41.7	47.9
48	23	1,005	1	39.1	43.7
49	35	766	2	29.5	21.9
50	43	922	3	35.1	21.4
51	24	251	4	9.5	10.5
52	37	569	4	21.3	15.4
53	49	1,519	6	56.3	31.0
54	34	744	3	27.9	21.9
55	26	512	2	18.7	19.7
56	21	522	1	19.1	24.9
57	27	923	1	33.4	34.2
58	21	1,074	0	38.7	51.1
59	17	272	0	9.8	16.0
60	25	1,047	0	37.1	41.9
61	20	598	0	21.7	29.9
62	16	789	0	27.8	49.3
63	16	1,003	0	35.3	62.7
元	15	823	1	29.0	54.9
2	22	1,355	0	47.5	61.6
3	29	3,084	0	107.8	106.3
4	24	843	0	29.5	35.1
5	13	824	2	28.8	63.4
6	16	524	0	18.0	32.8
7	18	506	0	17.6	28.1
8	25	792	2	27.5	31.7
9	342	1,677	0	58.2	4.9
10	1,088	2,815	1	97.7	2.6
11	1,149	2,531	1	87.7	2.2
12	782	1,567	0	54.4	2.0
13	770	1,530	0	53.1	2.0
14	719	1,889	0	65.8	2.6
15	561	2,071	0	71.9	3.7
16	578	1,214	0	42.2	2.1
17	541	1,203	0	41.8	2.2
18	294	773	0	26.9	2.6
19	259	1,489	1	51.8	5.7
20	271	1,590	0	55.3	5.9
21	155	411	0	14.3	2.7
22	158	538	0	18.8	3.4
23	116	380	0	13.3	3.3
24	110	2,698	0	94.7	24.5
25	71	269	0	9.5	3.8
26	95	802	0	28.3	8.4
27	69	952	0	33.7	13.8
28	28	349	0	12.3	12.5

年次	件数	患者数	死者数	り患率	1事件当 たり患者 数
31	1,665	28,286	271	31.3	17.0
32	1,716	24,164	300	26.5	14.1
33	1,911	31,056	332	33.8	16.3
34	2,468	39,899	318	42.9	16.2
35	1,877	37,253	218	39.9	19.8
36	2,631	53,362	238	56.6	20.3
37	1,916	38,166	167	40.1	19.9
38	1,970	38,344	164	39.9	19.5
39	2,037	41,638	146	42.8	20.4
40	1,208	29,018	139	29.5	24.0
41	1,400	31,204	117	31.5	22.3
42	1,565	39,760	120	39.6	25.4
43	1,093	33,041	94	32.6	30.2
44	1,360	49,396	82	48.1	36.3
45	1,133	32,516	63	31.3	28.7
46	1,118	30,731	46	29.3	27.5
47	1,405	37,216	37	35.0	26.5
48	1,201	36,832	39	33.9	30.7
49	1,202	25,986	48	23.6	21.6
50	1,783	45,277	52	40.4	25.4
51	831	20,933	26	18.5	25.2
52	1,276	33,188	30	29.1	26.0
53	1,271	30,547	40	26.5	24.0
54	1,168	30,161	22	26.0	25.8
55	1,001	32,737	23	28.0	32.7
56	1,108	30,027	13	25.5	27.1
57	923	35,535	12	30.1	38.5
58	1,095	37,023	13	31.2	33.8
59	1,047	33,084	21	31.2	31.6
60	1,177	44,102	12	36.4	37.5
61	899	35,556	7	29.2	39.6
62	840	25,368	5	20.7	30.2
63	724	41,439	8	33.9	57.2
元	927	36,479	10	29.6	39.4
2	926	37,561	5	30.4	40.6
3	782	39,745	6	32.0	50.8
4	557	29,790	6	23.9	53.5
5	550	25,702	10	20.6	46.7
6	830	35,735	2	28.0	43.1
7	699	26,325	5	21.1	37.7
8	1,217	46,327	15	36.8	38.1
9	1,960	39,989	8	31.7	20.4
10	3,010	46,179	9	36.6	15.3
11	2,697	35,214	7	27.8	13.1
12	2,247	43,307	4	34.2	19.3
13	1,928	25,862	4	20.4	13.4
14	1,850	27,629	18	21.7	14.9
15	1,584	29,341	6	23.0	18.5
16	1,666	28,175	5	22.1	16.9
17	1,545	27,019	7	21.3	17.5
18	1,491	39,026	6	30.5	26.2
19	1,289	33,477	7	26.2	26.0
20	1,369	24,303	4	19.0	17.8
21	1,048	20,249	0	15.8	19.3
22	1,254	25,972	0	20.3	20.7
23	1,062	21,616	11	16.9	20.4
24	1,100	26,699	11	20.9	24.3
25	931	20,802	1	16.3	22.3
26	976	19,355	2	15.2	19.8
27	1,202	22,718	6	17.9	18.9
28	1,140	20,253	14	16.0	17.8

(注) り患率は人口10万人に対するものである。

別表3

病 因 物 質 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位: 件, 人)

病因物質	年次	28			27			26			25			24		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0
細菌	計	16	101		42	54		74	193		55	78		81	151	
	小カ	14	26		42	54		70	134		53	76		72	88	
	腸病							2	16		2	2		5	5	
	ブエ	1	66					2	43					1	25	
	エエ													2	20	
	ウエ	1	9													
	チエ													1	13	
	クブ															
	ソ															
	化学	口ウイ	6	218		13	852		13	584		7	148		20	2,502
自然毒	小動	5	20		7	15		6	8		5	8		2	3	
	植	4	8		6	11		4	4		4	7		1	1	
その他	動物	1	12		1	4		2	4		1	1		1	2	
	その他	0	0		6	10		2	17		2	9		5	21	
不明		1	10				0	0		2	26		2	21		

別表4

原 因 施 設 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位: 件, 人)

施設	年次	28			27			26			25			24		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0
飲食	店	9	83		4	204		23	347		11	88		19	271	
	所	1	20					1	15					2	64	
家事	庭	4	6		8	17		6	8		3	5		6	25	
	所				2	86								1	81	
製造	旅				3	270		2	40		1	61		5	54	
	出	3	157		3	222		2	325		3	45		2	2,054	
病	学				1	21										
	校				1	31					1	16		1	66	
販	店										1	1		1	9	
	舍	1	62													
寄	所				1	21										
	他	1	12		1	27		1	15							
不明		9	9		45	53		60	52		51	53		73	74	

別表5

原因食品別食中毒発生状況

(単位：件、人)

病因物質	年次	28			27			26			25			24		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総数		28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0
複合調理食品		13	319											4	172	
魚介類	「ふぐ」類	4	8		6	11		4	4		4	7		1	1	
	「その他」				5	27		2	17		2	9		3	19	
魚介類加工品	「魚肉ねり製品」															
	「その他」															
穀類及びその加工品														1	66	
野菜類及びその加工品	「きのこ」類	1	12		1	4				1	1					
	「豆」類															
	「その他」							2	4							
菓子類					2	86										
肉類及びその加工品								1	15					1	1	
卵類及びその加工品																
乳類及びその加工品																
その他					12	773		22	684		13	199		25	2,362	
不明		10	10		43	51		64	78		5	53		75	77	

別表6

摂取場所別食中毒発生状況

(単位：件、人)

施設	年次	28			27			26			25			24		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総数		28	349	0	69	952		95	802	0	71	269	0	110	2,698	0
家庭		4	6		9	74		6	8		4	6		7	34	
飲食店		9	83		4	204		21	304		11	88		19	259	
事業所		1	20		4	243		1	15		1	10		4	2,130	
旅館					3	270		2	40		1	61		5	54	
学校					2	58		2	329		1	16		2	147	
製造所																
病院					1	21										
その他		2	74		1	29		2	39		2	35				
不明		12	166		45	53		61	67		5	53		73	74	

別表7

月 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位：件，人)

月	年次	28			27			26			25			24		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	28	349	0	69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0
1		3	83		6	16		5	35		5	74		8	162	
2		0	0		9	216		6	126		2	4		9	44	
3		2	4		5	87		8	19		4	12		10	85	
4		2	13		8	11		8	33		8	32		9	21	
5		2	17		10	34		13	43		7	7		6	21	
6		5	8		5	6		12	43		3	3		11	35	
7		2	10		3	3		12	21		6	21		8	11	
8		0	0		6	27		10	16		13	16		14	62	
9		3	10		1	4		3	4		4	4		10	10	
10		5	100		7	9		4	18		4	4		9	14	
11		1	11		6	365		9	53		9	13		4	15	
12		3	93		3	174		5	75		6	79		12	2,218	

(2) 食中毒警報発令事業

ア 事業実施期間 毎年6月1日から10月31日まで

イ 平成27年度の発令回数及び日数 1回(85日)

ウ 食中毒警報発令状況(平成6年~平成27年)

年次 (事件数)	区分	実施期間(月) (発生件数)	発令回数及び発令期間			警報発令期間		警報解除期間		
			号	月日~月日	日数	発生 件数	日数	発生件数(a) a/(a+b)×100	日数	発生件数(b) b/(a+b)×100
6 (16)		6~10 (5)	1	6.6~10.18	134	4	134	4	19	1 (20.0)
7 (18)		6~10 (7)	1	6.27~9.20	85	6	85	6	68	1 (14.3)
8 (25)		6~10 (16)	1	6.17~10.28	133	13	133	13	20	3 (18.8)
9 (33)		6~10 (22)	1	6.19~10.15	118	21	118	21	35	1 (4.5)
10 (44)		6~10 (24)	1	6.19~10.26	129	21	129	21	24	4 (12.5)
11 (34)		6~10 (20)	1	6.17~10.31	136	20	137	20	16	3 (9.0)
12 (31)		6~10 (20)	1	7.3~10.11	100	17	100	17	53	4 (15.0)
13 (32)		6~10 (8)	1	6.11~6.19	8	6	108	6	45	1 (25.0)
14 (29)		6~10 (16)	1	6.3~6.24	21	13	126	13	27	1 (18.8)
15 (19)		6~10 (13)	1	6.9~10.6	119	13	119	13	34	6 (23.1)
16 (18)		6~10 (8)	1	6.4~10.4	122	7	122	7	31	1 (12.5)
17 (20)		6~10 (10)	1	6.9~10.11	124	7	124	7	29	5 (30.0)
18 (17)		6~10 (11)	1	6.16~10.17	123	10	123	10	30	4 (9.1)
19 (22)		6~10 (8)	1	6.28~10.24	118	8	118	8	35	2 (0)
20 (24)		6~10 (10)	1	7.2~10.6	96	5	96	5	57	25 (44.4)
21 (12)		6~10 (2)	1	6.15~10.5	112	1	112	1	41	18 (50.0)
22 (28)		6~10 (11)	1	6.11~10.6	117	7	117	7	36	1 (50.0)
23 (20)		6~10 (9)	1	6.24~10.5	103	5	103	5	50	2 (19.4)
24 (24)		6~10 (5)	1	6.25~10.9	106	4	106	4	47	1 (36.0)
25 (12)		6~10 (1)	1	6.7~10.15	130	1	130	1	23	1 (20.0)
26 (22)		6~10 (5)	1	6.2~9.24	114	4	114	4	39	13 (31.7)
27 (15)		6~10 (1)	1	7.13~10.6	85	1	85	1	68	0 (0.0)
28 (11)		6~10 (5)	1	7.4~10.25	113	5	113	5	40	2 (6.9)
29 (17)		6~10 (10)	1	7.4~10.25	113	6	113	6	40	1 (20.0)

(注) 発生件数は、食中毒事件数を示す。
 発令日数に、解除日は含まず。
 平成9年以降の上段は集団、下段は散発事例を示す。